



- 最初に
ご確認ください。
- 付属品
- スピーカー本体 1台
 - ワイヤレスマイク 2本
 - 収納バッグ 1個
 - 取扱説明書・保証書(本書) 1部

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2.安全にご使用いただくために必ずお読みください。(続き)

- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
▲塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
▲定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内用に作られております。日本国外では使用できません。

制限事項

- 対応機種、対応接続機器・環境の場合であっても接続環境・機器の組み合わせ・相性問題により動作しないことがあります。
- 全ての機器・製品に対応することを保証するものではありません。

3.特長

スピーカー部

- 講義や講演、結婚式の2次会やイベントなどに手軽に持ち込み、簡単にセッティングができる拡声器スピーカーとマイクのセットです。
 - ワイヤレスマイクが2本同梱されており自由に移動しながらの使用が可能です。
 - ワイヤレスマイクはB型帯域に割り当てられた10波の中から1波を選択して利用できますので、周波数が重なった場合も手軽に変更が可能です。
 - 有線マイク(別売り)も接続可能でワイヤレスマイクと有線マイクを同時に使用することもできます。*1
 - 市販のダイナミックマイク(有線)も接続できる標準的なマイク入力端子(φ6.3mm標準ジャック)を搭載。
 - スピーカーは最大40Wの高出力で屋内環境で約180~200m程度での使用に最適です。
 - マイクミキシング機能を搭載しており、外部入力からの音楽などをスピーカーから出力することができます。カラオクスピーカーとして利用したり、結婚式の2次会やパーティーなどにバックミュージックと共にアナウンスを流したりできます。
 - 高音調整・低音調整機能付き。
 - 持ち運びに便利な大型ハンドルを搭載。
 - 収納・保管や持ち運びにも便利な専用バッグ付き。
 - 音声外部出力ジャックも搭載しており、録音可能機器で録音することもできます。
 - 電源は通常の家庭用コンセントで使用できるAC電源と持ち運び時にも使える電池駆動(単二電池8本使用)の2WAYに対応。
- *1 別売り:400-SP045(ダイナミックマイク(有線タイプ))

ワイヤレスマイク部

- 特定小電力無線局ラジオマイク(800MHz帯)規格に適合したワイヤレスマイクです。
- B型帯域を使用しており10波の中から1波を選択して利用できます。
- 発言者の声色をできるだけ忠実に引き出すワイヤレスダイナミックマイクです。

4.仕様

スピーカー部

実用最大出力	40W
周波数特性	200Hz~15000Hz
スピーカー形式	バスレフ方式フルレンジ スピーカーシステム(防磁設計)
スピーカーサイズ	5インチ(直径130mm)
ロードインピーダンス	8Ω
入力端子	φ6.3標準ジャック(マイク用)×2、 RCAコネクタメス(赤白/入力用)×1
出力端子	φ6.3外部音声出力×1
電源	AC電源、電池駆動(単二形乾電池×8本使用)
サイズ	W210×D222×H300mm
重量	約5040g(本体のみ)
同梱品	スピーカー本体×1、ワイヤレスマイク×2、取扱説明書(本書)×1 収納バッグ×1

ワイヤレスマイク部

型式	単一指向性ダイナミックマイク
アンテナ形式	内蔵アンテナ
周波数特性	806.250MHz~809.500MHz
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	F3E
トーン信号	32.768kHz
空中線電力	10mW
送信周波数安定度	20ppm以下
不要輻射	2.5μW以下
基準周波数偏移	±30kHz
最大周波数偏移	±35kHz
電源電圧(別売)	DC3V(単三形乾電池×2本)
電池寿命	約6.5時間(アルカリ電池使用時)
感度	-76±3dB
インピーダンス	220Ω
サイズ	口径36×240mm
重量	約190g

1.はじめに

このたびは、ワイヤレスマイク付き拡声器スピーカー400-SP066(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は本製品を正しくご使用していただくための取扱方法、使用上の注意などについて説明するものです。
なお、お読みになったあとも本書はお手元に置いてご使用ください。

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがございます。

2.安全にご使用いただくために必ずお読みください。

注意 下記の表示事項を守らなかった場合、使用者が障害を負う危険や物損の発生があります。

取扱上の注意

- 本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり異臭がした場合は、本製品及び接続しているパソコンや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 雷が鳴っているときに、本製品やケーブルに触れないでください。
▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品のカバーを開けたり、分解しないでください。
▲故障や感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
▲本製品がパソコンに接続されているときには、感電する恐れがあります。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管しないでください。
▲故障・感電などの原因となることがあります。
- 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置かないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品は不安定な場所に設置したり、保管しないでください。
▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
- 本製品のケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品のケーブルや接続する機器のケーブルは、家具で踏んだり、扉で挟まないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。

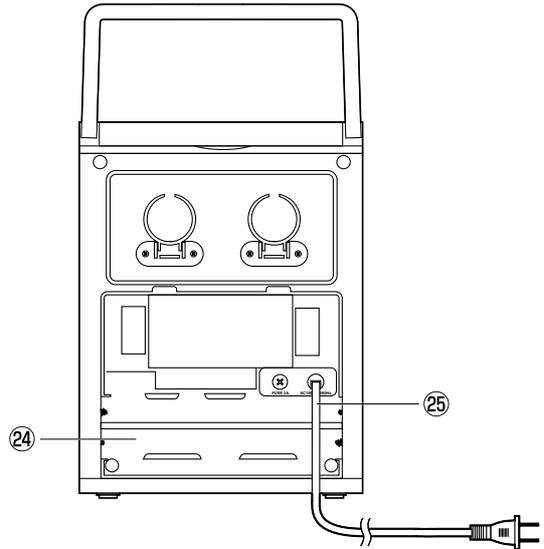
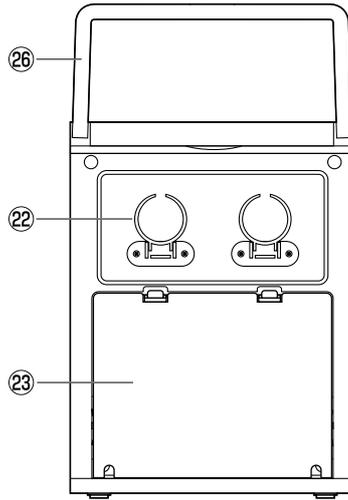
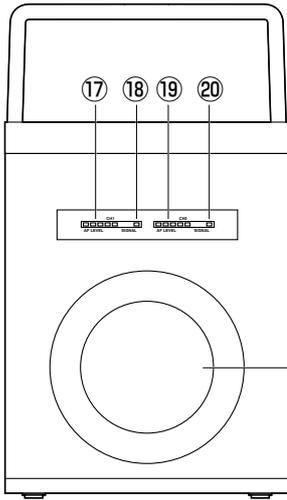
5.各部の名称と働き

スピーカー部

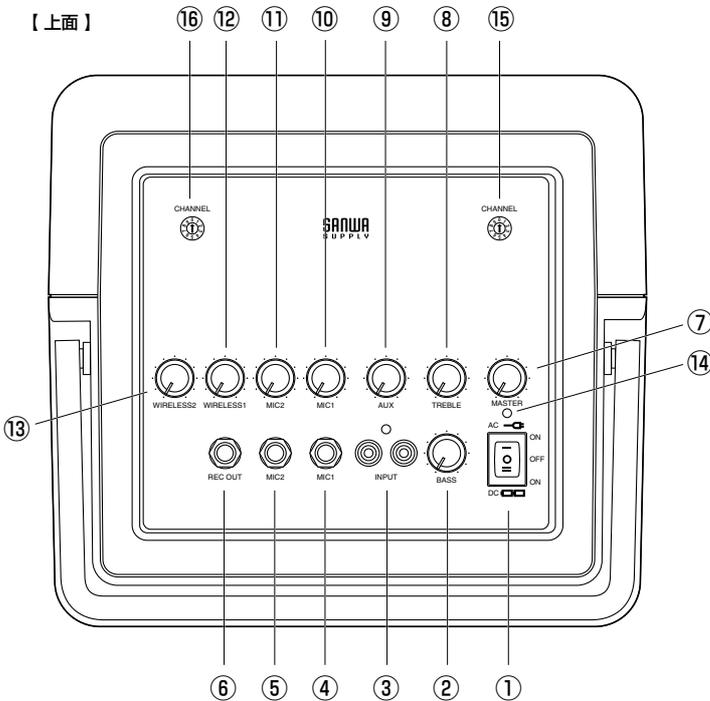
【前面】

【背面】

【背面：カバー取外し時】



【上面】



①電源ON・OFFスイッチ
AC電源/乾電池駆動を選択できます。

②BASS(低音)調整
低音を調整できます。

③外部音声入力端子
RCA赤・白音声入力ができます。

④マイク1入力端子
マイクを接続します。(φ6.3標準ジャック)

⑤マイク2入力端子
マイクを接続します。(φ6.3標準ジャック)

⑥外部音声出力端子
音声を出力できます。(φ6.3標準ジャック)

⑦マスターボリューム
本製品の基本音量を調整できます。

⑧TREBLE(高音)調整
高音を調整できます。

⑨外部音声ボリューム
外部機器の音量を調整できます。

⑩マイク1ボリューム
有線マイク1の音量を調整できます。

⑪マイク2ボリューム
有線マイク2の音量を調整できます。

⑫ワイヤレスマイク1ボリューム
ワイヤレスマイク1の音量を調整できます。

⑬ワイヤレスマイク2ボリューム
ワイヤレスマイク2の音量を調整できます。

⑭電源LED
通電時点灯します。

⑮チャンネル選択ダイヤル1
ワイヤレスマイク1のチャンネル周波数を選択します。

⑯チャンネル選択ダイヤル2
ワイヤレスマイク2のチャンネル周波数を選択します。

⑰周波数レベル
マイク入力の強弱を表示します。

⑱ワイヤレスマイク接続確認LED
ワイヤレスマイクと周波数が合い、接続された場合に点灯します。

⑲周波数レベル
マイク入力の強弱を表示します。

⑳ワイヤレスマイク接続確認LED
ワイヤレスマイクと周波数が合い、接続された場合に点灯します。

㉑スピーカー部

㉒マイクホルダー
未使用時のマイクを収納することができます。

㉓背面カバー

㉔電池ボックス
電池駆動で使用できます。(単二形乾電池×8本)

㉕AC電源コード
家庭用のAC電源で使用できます。
(一般家庭用100V電源)(ケーブル長:約2.3m)

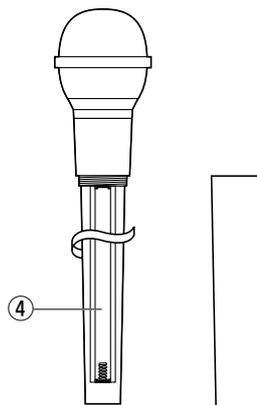
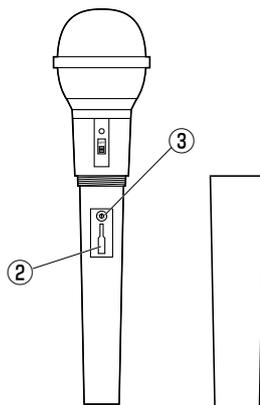
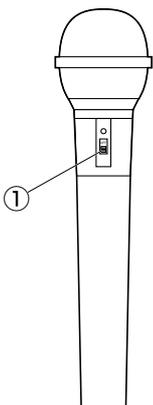
㉖ハンドル

ワイヤレスマイク部

【前面】

【前面：カバー取外し時】

【背面：カバー取外し時】



①電源スイッチ

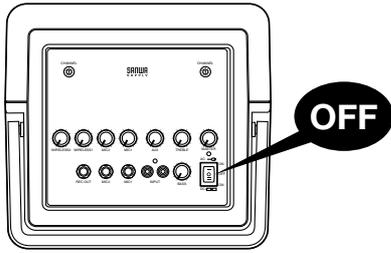
②チャンネル変更器具

③チャンネル選択ダイヤル(10波)

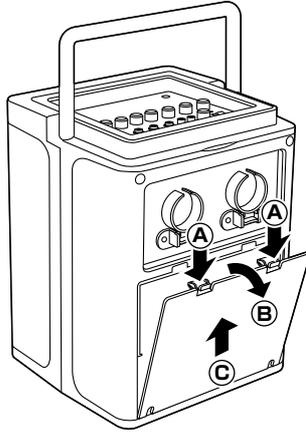
④電池BOX(単三形乾電池×2本)
※別売

6. 電池のセット方法(スピーカー本体)

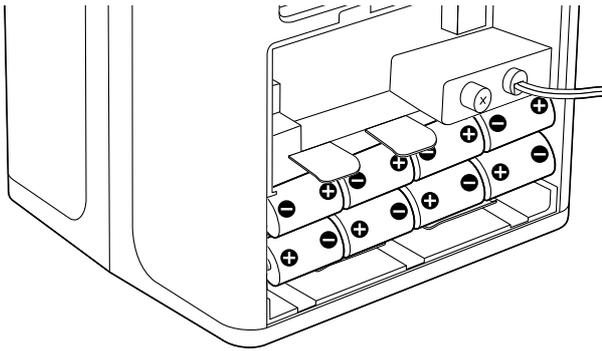
①スピーカー本体の電源をOFFにし、全てのボリュームを最小にしてください。



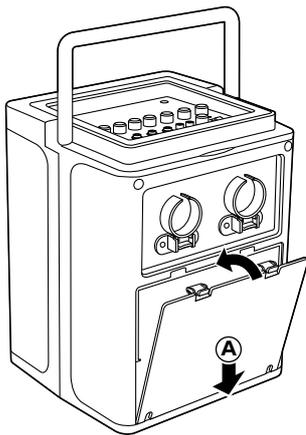
②Aを押しながらBの方向に開き、Cの方向に背面カバーを外します。



③電池の極性の向きに気をつけて、市販の単二形乾電池8本を入れます。

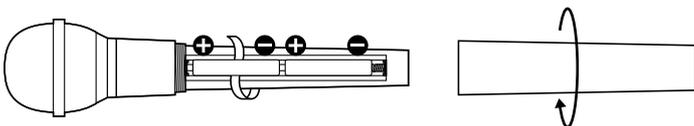


④Aの方向にツメを差込み、背面カバーを取付けます。



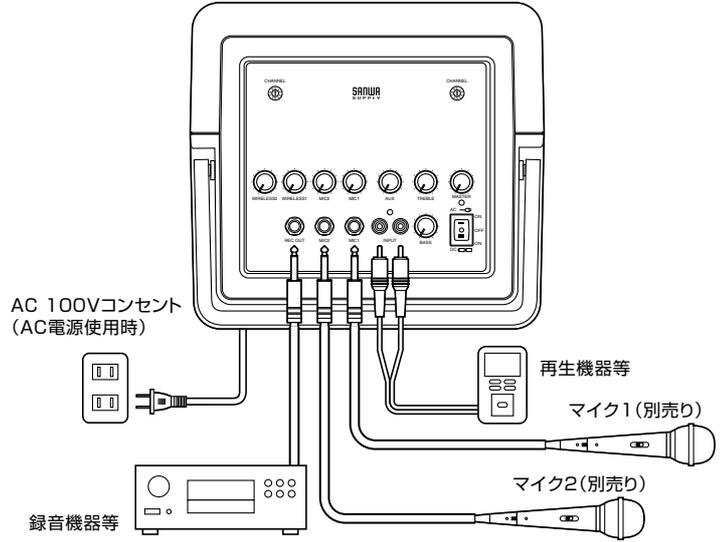
7. 電池の入れ方(ワイヤレスマイク)

- ①ワイヤレスマイクの電源をOFFにします。
- ②マイクの下側を矢印の方向に回して電池BOXを開けます。
- ③電池を正しい向きでセットします。
単三形乾電池×2本は別途ご用意ください。



※乾電池は付属しておりません。

8. 接続例



※有線マイクを追加したい場合は別売りの追加用ダイナミックマイク400-SP045をご利用ください。
(市販のダイナミックマイクでも使用可能です)

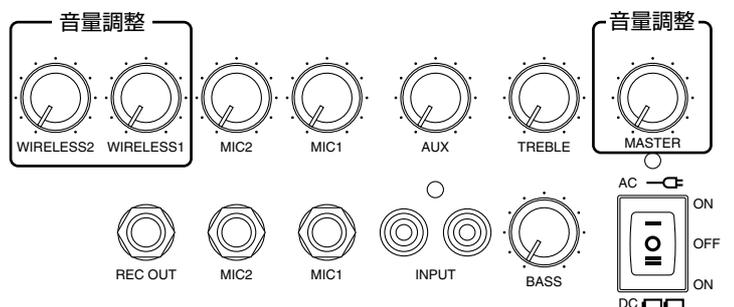
9. 使用方法

AC電源接続時

- ①スピーカー本体の電源がOFFになっていること、全てのボリュームが最小になっていることを確認してから電源プラグをコンセントへ接続してください。(一般家庭用100V電源のみ使用可能です)
- ②スピーカー本体の電源をAC側にONにしてください。
- ③ワイヤレスマイクの電源をONにしてください。
正常にスピーカーとマイクが接続されるとスピーカー前面の⑩ワイヤレスマイク接続確認LEDが緑色に点灯します。
※緑色に点灯しない場合、チャンネル設定があっていない可能性があります。「10.スピーカー本体・ワイヤレスマイクのチャンネル設定方法」をご確認ください。
- ④音量の調整は⑦マスターボリュームを最初に調整してください。次に各ワイヤレスマイクの音量を調整してください。
※マスターボリュームが0のままだと音声出力されません。
- ⑤高音・低音の調整により、環境によって聞き取りやすい音になります。調整してご利用ください。

電池駆動時

- ①スピーカー本体の電源がOFFになっていること、全てのボリュームが最小になっていることを確認してから背面カバーを開けてください。
- ②単二形乾電池を電池ボックスの指示通りに正しく入れてください。
- ③スピーカー本体の電源をDC側にONにしてください。
- ④ワイヤレスマイクの電源をONにしてください。
正常にスピーカーとマイクが接続されるとスピーカー前面の⑩ワイヤレスマイク接続確認LEDが緑色に点灯します。
※緑色に点灯しない場合、チャンネル設定があっていない可能性があります。「10.スピーカー本体・ワイヤレスマイクのチャンネル設定方法」をご確認ください。
- ⑤音量の調整は⑦マスターボリュームを最初に調整してください。次に各ワイヤレスマイクの音量を調整してください。
※マスターボリュームが0のままだと音声出力されません。
- ⑥高音・低音の調整により、環境によって聞き取りやすい音になります。調整してご利用ください。



10.スピーカー本体・ワイヤレスマイクのチャンネル設定方法

スピーカー本体のチャンネル(周波数)とワイヤレスマイクのチャンネル(周波数)を合わせないとワイヤレスマイクを使用することはできません。

※初期設定ではスピーカー本体のチャンネル(2箇所)とワイヤレスマイクのチャンネル(2本)は、チャンネル0(周波数:806.250MHz)になっています。

●ワイヤレスマイク1本使用の場合

最初に電源を入れたワイヤレスマイクが、初期設定の状態で使用できます。

※ご使用環境で既に使用されている周波数帯域があった場合は、スピーカー本体とワイヤレスマイクともに別のチャンネル(周波数)に変更してください。

●ワイヤレスマイク2本使用の場合

①片方のワイヤレスマイクのチャンネル選択ダイヤルの数字を変更(例0→5)します。

②スピーカー本体のチャンネル選択ダイヤル2の数字を同じ数字(例0→5)に変更します。

※ご使用環境で既に使用されている周波数帯域があった場合は、スピーカー本体とワイヤレスマイクともに別のチャンネル(周波数)をご使用ください。

【例】

ワイヤレスマイク1(1本目):チャンネル0

スピーカー本体(チャンネル選択ダイヤル1):チャンネル0

「WIRELESS1」で音量調節ができます。

ワイヤレスマイク2(2本目):チャンネル5

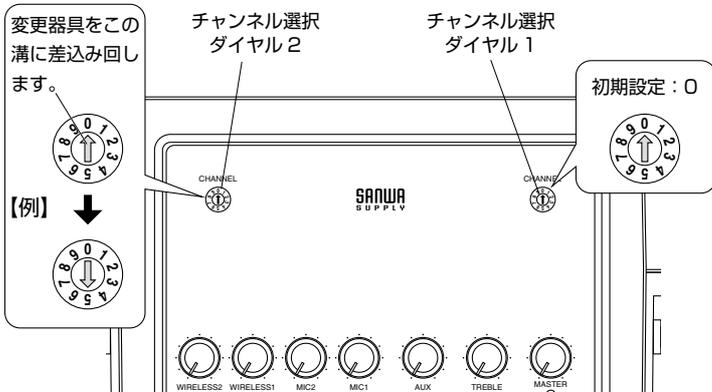
スピーカー本体(チャンネル選択ダイヤル2):チャンネル5

「WIRELESS2」で音量調節ができます。

※ワイヤレスマイク1本目と2本目のチャンネルはできるだけ周波数の離れたチャンネルを選択してください。

【スピーカー本体】

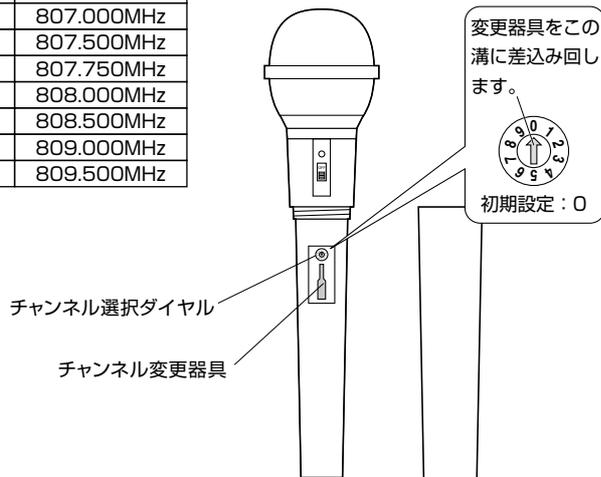
スピーカー本体のチャンネル選択ダイヤルの凹みを、ワイヤレスマイクに付属しているチャンネル変更器具で回して設定します。



【ワイヤレスマイク】

ワイヤレスマイクのチャンネル選択ダイヤルを付属しているチャンネル変更器具で回して設定します。

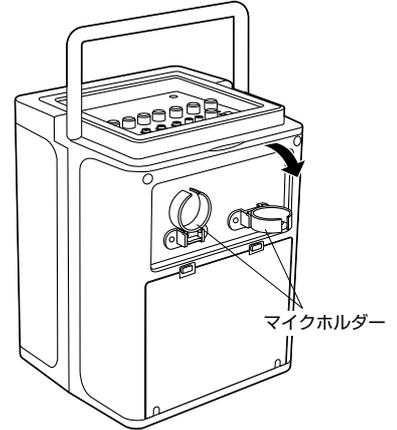
チャンネル	周波数
0	806.250MHz
1	806.500MHz
2	806.750MHz
3	807.000MHz
4	807.500MHz
5	807.750MHz
6	808.000MHz
7	808.500MHz
8	809.000MHz
9	809.500MHz



11.マイク収納ホルダーについて

背面のマイクホルダーを開いて、ワイヤレスマイク未使用時にマイクを収納してください。

※本製品を保管収納する場合はマイクホルダーを元の位置に戻してから収納してください。



12.収納バッグについて

本製品には拡声器本体・マイクの収納に適した収納用バッグが同梱されています。片面がメッシュ構造となっており、本製品を収納したまま音出力をすることも可能です。急な雨天時など、一時的な簡易防水ケースとしても使用できます。

※防水生地・防水構造ではありません。
※本製品には防水機能はありません。



13.保証の免責事項・保証書

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売・オークション・転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

サンワサプライ株式会社

型番	400-SP066	シリアルナンバー
お客様	お名前	TEL
	ご住所	
販売店	販売店名・住所・TEL	担当者的名
	保証期間 ご購入日から6ヶ月	ご購入日: 年 月 日

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社